

学習院大学史料館所蔵史料目録 第九号

武蔵国秩父郡上名栗村町田家文書(二)



## 序 文

今回、学習院大学史料館所蔵史料目録第九号として、武蔵国秩父郡上名栗村町田家文書（二）を発行するのはこびとなった。本書には、主として町田家の経営に係る文書のうち近世冊子型文書を収めた。

町田家は、武蔵国上名栗村で代々村名主をつとめた家である。この地域は、江戸時代以来、良質の杉・檜を産出した西川林業の中心地で、町田家は、大規模な山林経営を行ない、また、江戸深川に店をもち、薪炭・材木商としても活発な商業活動を行なった。このため、本文書は山村の構造、林業の生産・流通・販売等近世林業経営に関する日本屈指の貴重な史料となっている。

史料整理・目録作成は、大変な労力と時間を必要とする地道な息の長い仕事である。なお、既刊の目録に収録したほかに多くの未整理文書を残しており、引続き、次号目録作成に向けて、整理に着手している。何卒、今後ともご指導ご鞭撻を賜わりたくお願い申しあげる次第である。

本目録の作成には、主として、斎藤洋一・生田享子・島田典子・須田肇・対馬（浜田）佳代子・長佐古美奈子・沼田（小川）紀子・松島孝人の史料館員があたり、西田かほる・山口和夫氏のご協力を

得た。また、加藤衛弘氏にはひとかたならぬご指導をあおいだ。ここに深く感謝申しあげるものである。

昭和六十三年三月

学習院大学史料館館長

柳 田 節 子

凡 例

- 一 本目録は、昭和四二年五月一〇日に町田雅男氏から学習院大学に寄贈された武蔵国秩父郡上名栗村（現在の埼玉県入間郡名栗村大字上名栗）町田家文書の近世冊子型文書のうち町田家経営関係文書の目録である。
- 一 「文書の分類」 文書は主題分類を施し、各分類ごとに編年することを原則とした。文書内容が複数の分類項目にわたる場合には、主たる主題と思われる分類項目に分類した。
- 一 「文書番号」 一文書に一番号を原則とした。ただし、一括して保存されていたものや、綴られていたもの、数冊に分れているものは枝番号を付した。
- 一 「文書の年代」 表紙あるいは文書末尾箇所に記されたものを採録した。文書の性格上、内容年代を《》にて記した。
- 一 「文書名」 表紙に記されたものを採録した。ただし、表紙のないものや、表紙の書名で内容が不明瞭なものなどは、目録作成者が必要に応じて（ ）で補った。
- 一 「文書の差出人（作成者）・受取人（宛名）」 文書の表紙・裏表紙に記された作成者・宛名、あるいは文書の末尾箇所に記された差出人、受取人を採録した。目録では「A↓B」の場合はAが差出人（作成者）でBが受取人（宛名）ということ。「A」の場合は差出人（作成者）のみ、また「↓B」の場合は受取人（宛名）のみであることを示す。
- 一 「形態」 縦帳（縦と略記）、横帳（横と略記）、状、綴、状態に分け、元の形態が推測できるものについては（ ）を付して表記した。
- 一 虫損・破損は、その状態により、□・□で示した。

## 目次

J	町田家経営全般	一
K	町田家土地	七
L	町田家小作・店貸	三
M	町田家金融	九
N	山林経営	三
O	材木商売	
	全般	三
	木挽	七
	筏	七
	水揚・仕切	一〇

P	人足	一三三
Q	町田家酒造	一三七
R	酒買入	一四一
S	炭商売	
	全般	一四四
	入荷・生産	一四七
	出荷・販売	一五三
T	穀物仕入	一六六
U	日用品商売	一七三
V	金銭出入	
	全般	一七五
	諸品購入	一七五
	公用道中	一七七
	貨幣有高改	一八四
W	町田家生活	

	年始・盆・暮	三三
	冠婚・葬祭	三四
	家財・普請	二六
	飯 米	二七
	学芸・趣味	三〇
	記 録	三四
	旅	三五
X	材木問屋	三七
Y	筏仲間	三五
	解説にかえて	三五



J 町田家経営全般

文書 番号	年 代	文 書 名	形態 数量
三七三	文化二年四月	横方手控 (本丸・西丸新模納方手控) (町田栄次郎)	横 一
三七四	文化二年臘月	手控 (金銭支払い方など) (町田)	横 一
三七五	《丑》(文化二) 年九月三日~十二月七日	丑九月手控 (金銭支払い方など) (町田)	横 一
三七六	文化二年	《文化二》 年間八月二八日~一〇月二六日 手控 (金銭出入ほか) (町栄)	横 一
三七七	《二》二月一〇日~二月一六日	手控 (材木本数書付、年末年始金銭出入賞、江戸入用呉服類寛)	横 一
三七八	卯 (文政二) 年九月	(杉檜売渡書付之事など控帳)	縦 一
三三九	辰年四月	杉檜売渡書付之事 (上名栗村売主半七他一名↓栄治郎) (相手の無事、当方の無事をいう書状)	縦 一
三四〇	文政四年一月	差出申一札之事 (鉄砲差出証文) (上名栗村預り主勘四郎他三名↓栄治郎) 奉公人請状之事	縦 一
三四一	文政四年九月	(質物証文末尾文言雛型)	縦 一
三四二	文政四年九月	書入証文之事 (南川村金借用人徳左衛門他四名↓何村誰)	縦 一
三四三	文政四年九月	質地証文之事 (上名栗村質地主新蔵他五名↓何村誰)	縦 一
三四四	天保六年三月	筆まめ (とうふ代金など支払い、筏材木本数寛)	横 一

《三月一七日～三月二二日、五月朔日～五月二日》

二

(木数改め覚)

三六〇 天保一四年五月

万覚帳 (人足・穀物仕入・小作金など) [新館]

《正月九日～六月一三日》

三六一 天保一五(弘化元)年正

勘定帳 (買物覚、貫代金仕切) [新館]

月

《正月六日請取～辰年入》

三六二 天保一五(弘化元)年六

絹覚帳 (入金など) [町軍]

月

《六月一三日～一〇月一九日》

三六三 天保一五(弘化元)年一 人足其外万覚帳 [新館]

二月

三六四 弘化二年七月

附込帳 (金銭・白米・米など日別出入附込帳)

《巳(弘化二)年七月一七日～午(弘化三)年正月改》

三六五 弘化二年一月

万日記覚帳 (新館善吉)

《一月五日～午年正月》

三六六 弘化三年正月

附込帳 (金銭・白米・米など日別出入附込帳)

《正月二日～三月一四日》

三六七 弘化三年二月

五番附込帳 (金銭・白米・米など日別出入附込帳) [新館]

《二月四日～未(弘化四)年正月二日改》

三六八

一 弘化四年正月

通 (水車通帳) (水車→御本家)

《午(弘化三)年正月～申(嘉永元)年二月》

横

一

横

一

横

一

横

一

横

一

横

一

横

一

横

一

横

一

状

一

- 二 嘉永七〥安政元年正月 本家万之通(人足・炭焼への貸穀・貸金、日用品購入) 横 一  
 《(嘉永六)年二月二七日》(安政元)年二月二七日、(嘉永六)年二月二九日〥(安政元)年二月二八日〥
- 三 安政二年正月 本家万之通(人足・炭焼への貸穀・貸金、日用品購入) 横 一  
 《(安政元)年二月二八日〥(安政二)年二月二三日、(安政元)年二月二九日〥(安政二)年二月二二日〥
- 四 安政三年正月 万之通(人足・炭焼への貸穀・貸金、日用品購入)〔町軍↓本家〕 横 一  
 《(安政二)年二月二八日〥(安政三)年二月二五日、(安政二)年一月九日〥(安政三)年二月二二日〥
- 五 安政四年正月 本家万之通(人足・炭焼への貸穀・貸金、日用品購入)〔町田軍蔵↓本家〕 横 一  
 《(安政三)年二月二八日〥(安政四)年正月九日、(安政三)年二月二三日〥(安政四)年二月二三日〥
- 六 安政六年正月 万之通(人足・炭焼への貸穀・貸金、日用品購入)〔角士↓丸士〕 横 一  
 《(安政五)年極月二九日〥(安政六)年二月二五日、(安政六)年正月八日〥(安政四)年二月二五日〥
- 七 安政七〥万延元年正月 万之通(人足・炭焼への貸穀・貸金、日用品購入)〔角士↓丸士〕 横 一  
 《(安政七〥万延元)年正月一〇日〥二月二六日、正月五日〥二月二五日〥
- 八 嘉永五年より ④万之通勘定書抜(通帳の勘定部分の抜き書)〔角士〕 横 一  
 《子(嘉永五)年〥戊(文久二)年〥
- 九 文久元年 万之通(人足・炭焼への貸穀・貸金、日用品購入)〔丸士↓角士〕 横 一  
 《申(万延元)年二月二七日〥巳年二月大晦日〥
- 三六 弘化四年正月 附込帳(金銭・米など日別出入附込帳)〔新館〕 横 一  
 《正月二日〥二月二二日〥
- 三九 弘化四年二月 二番附込帳(金銭・米など日別出入附込帳)〔新館〕 横 一  
 《二月二二日〥四月二二日〥
- 三五 丁未(弘化四)年九月 五番附<sup>込帳</sup>□□(金銭・米など日別出入附込帳) 横 一  
 《九月二六日〥十二月晦日〥
- 三九 弘化五〥嘉永元)年正月 □番附込帳(金銭・米など日別出入附込帳)〔新館〕 横 一

《正月二日～五月一日》

三九五 嘉永元年四月 式番附込帳（金銭・米など日別出入附込帳）〔新館〕

《五月朔日～一月一日》

三九四 嘉永四年正月 附込帳（金銭・米など日別出入附込帳）〔新館〕

《正月二日～二月二日》

三九五 嘉永五年正月 附込帳（金銭・米など日別出入附込帳）〔新館〕

《亥（嘉永四）年二月二日～寅（嘉永七〓安政元）年二月二七日》

三九六 嘉永七（〓安政元）年正月 大福帳

三九七 安政五年正月 万之通（人足・炭焼への貸穀・貸金、日用品購入）〔町軍→本家〕

《安政四年二月二九日～安政五年二月二七日》

三九八 文久元年極月 臨時用控（山形）

《二月二八日～戊（文久二）年正月一四日》

三九九 文久二年二月 万用日記（人足・炭焼きへの貸穀・賃金、日用品購入）

《二月四日～二九日》

四〇〇 明治二年九月 当座帳（米・麦などの入荷および人足・炭焼への附込帳）

《巳（明治二）年九月七日～二月晦日》

四〇一 明治四年正月 米麦比賀恵（貸穀控帳）

《正月三日～二月二九日》

四〇二 卯年正月 卯正月改帳（手もちの材木・立木・炭・穀物など）〔新館〕

《卯年正月一日》

四〇三

一 差出申一札之事（八月中大雨川崩れにつき筏川下げの際は届け出、差図を受けるよう一札）

〔筏惣代→下奥留村役人中〕

縦 一

横 一

横 一

横 一

横 一

横 一

横 一

横 一

横 一

横 一

横 一



三二一	手控〔町田屋太助〕		
	《天保一二年頃ゝ嘉永五年頃》		
三二二	(穀物仕入、挽削物仕入控)	横	一
	《弘化四年正月晦日ゝ申(嘉永元)年一〇月》		
三二三	(六福帳)	横	一
	《元治元年一二月ゝ慶応二年》		
三二四	(材木商売、金銭出入など覚)(前後欠)	横	一
	《(未)年九月ゝ申年三月七日》		
三二五	(当座帳)(人足・炭焼への貸穀・貸金付込帳)	横	一
	《戌(文久二)年三月六日ゝ辰(慶応四〓明治元)年閏四月二四日》		
三二六	(筏人足賃など方覚帳)	横	一
	《戌年一二月二五日ゝ一二月二九日》		
三二七	(穀物・挽物仕入覚)	横	一
	《正月五日ゝ四月二五日》		
三二八	(金銭・米など日別出入付込帳)(新館)	横	一
	《九月二七日ゝ一二月三日》		
三二九	(金銭・米など日別出入付込帳)	横	一
	《一二月五日ゝ一二月二九日》		
三三〇	一寸控(材木商売、人足、炭商売など)	横	一
	《一二月二六日ゝ巳年五月五日》		
三三一	手控(弥三郎家督始末之事、農事覚)(町田)	横	一
三三三	(筏送り、金銭出入等につき方覚)	横	一



K 町田家土地

文書 番号	年 代	文 書 名	形態 数量
三三三	貞享三年四月一〇日	反歩書分寛帳 (佐兵衛分) (父兵左衛門↓佐兵衛)	縦 一
二	寛文二年二月一二日	差上申手形之事 (田地譲渡証文) (田地主清兵衛他五名↓兵左衛門)	状 一
三	貞享三年四月	遺所書之覚 (畑山譲渡証文) (父兵左衛門他六名↓左兵衛)	状 一
四	貞享五(元禄元)年九月 一四日	手形之事 (兵左衛門死去につき茶湯免として寄付した畑山請取り証) (円昌寺手形主富 八鉄長□他七名↓町田佐兵衛他二名) (浦之助などから栄次郎へ譲渡された畑畝歩覚)	状 一
三三四	享和二年	地所并年賦山控 (町田屋)	横 一
三三五	文化八年	《文化八年閏二月〜文政四年一二月》	横 一
三三六	文化一三年	式番地所并年賦山控 (町田屋)	横 一
三三七	《文化一三年六月〜文政五年三月》		綴 一
一	文政三年一二月	辰御年貢質地名寄帳 (町田栄治郎)	
二	文政四年一二月	巳御年貢質地名寄帳 (栄治郎)	
三三八	文政五年八月	名寄書分ケ帳 (上名栗村質地主太治郎他七名↓栄治郎)	横 一
三三九	文政五年一二月	午御年貢質地名寄帳	横 一
三三〇	文政五年一二月	流質地証文 (上名栗村流質地主与助他六名)	縦 一
三三一	文政六年一二月	未御年貢質地名寄帳	横 一

三三三	文政七年一月二日	申御歳貢質地名寄帳〔後欠〕〔新館〕		
三三三	文政八年五月	野山讓証文之事〔入会野山株讓渡につき〕〔文藏他九四名↓栄次郎〕	縦	一
三三三	文政八年六月	野山讓証文〔入会野山株讓渡につき〕〔円助他一名↓栄次郎〕	縦	一
三三五	文政一〇年二月	亥御年貢質地名寄帳〔新立〕	横	一
三三六	文政一一年二月	子御年貢質地名寄帳〔新古両組〕	横	一
三三七	文政一二年二月	丑御年貢質地名寄帳〔新古両組〕	横	一
三三八	文政一三〔天保元〕年一月	寅御年貢質地名寄帳〔新古両組〕	横	一
	二月			
三三九	天保二年一月二日	卯御年貢質地名寄帳〔新古両組〕	横	一
三四〇	天保三年一月二日	辰御年貢質地名寄帳〔新古両組〕	横	一
三四一	天保四年二月七日	家督讓請覚〔讓請人軍藏↓父町田栄次郎・親類〕	横	一
三四二	《享和二年、天保四年二月七日》	持分畑山ヶ所調帳〔讓請人軍藏他三名↓父町田栄次郎・親類衆中〕	横	一
三四三	天保四年二月七日			
一	天保四年二月	新館株敷讓請帳〔軍藏〕	綴	一
	《享和二年、天保四年二月七日》			
	天保四年二月	新館株敷讓請帳〔軍藏〕		
二	《享和二年、天保四年二月七日》			
三四四	天保四年二月	隱免書分帳〔軍藏他二名↓町田栄次郎・親類衆中〕	横	一
三四五	天保四年一月二日	巳御年貢質地名寄帳〔新古両組〕	横	一
三四六	天保五年一月二日	午御年貢質地名寄帳〔新古両組〕	横	一
三四七	天保六年一月二日	未御年貢質地名寄帳〔村々〕	横	一
三四八	天保七年一月二日	申御年貢質地名寄帳〔村々〕	横	一



三三九 〇(甲) 天保七) 年二月 種木質地書付留(地面井上毛諸木質入につき質地証文および年貢諸役書上)

《天保三年一月〜天保六年一月二三日》

三三〇 明治二年六月 持分之内古組分字并畝歩書拔帳(新館)〔町田俊三郎〕

《文化四年一〇月〜文久二年一月》

三三一

一 明治二年一月 買地比賀恵

《文化二年三月〜文久二年一月》

二① 印紙(包紙)

二② 五錢印紙、一錢印紙

三三二

一 明治四年四月 所持之分字并畝歩書拔帳(町俊)

二 明治四年四月 元來所持高之分書拔〔町田〕

《文化四年一〇月〜天保八年一月》

三 明治四年四月 天保九戌歲以來高入分書拔〔町田〕

《天保九年七月〜元治二(一慶応元)年三月》

三三三

明治四年八月 滝之前通り山畑ヶ所附覚  
山中地所扣

《文化九年一月〜弘化四年八月》

三三五

《文化一三年一月〜天保七年二月》  
年賦山証文繪図〔町田〕

三三六

一 老番山畑図〔町田〕  
《文化一四年四月〜明治三年五月》

縦 一

横 一

縦 一

包紙 一

綴 二

横 一

横 一

縦 一

縦 一

二 明治三年五月

中沢木の下畑絵図

三三七

(流質地証文)

縦 絵図

一

《文政元年九月〜文久二年十一月》

三三八

(流質地証文)

縦

一

《文政四年三月〜嘉永元年一〇月》

一②

(字釜ノ入の山ニケ所境の儀につき書付)

状

一

一③

(字釜ノ入の畑境の儀につき書付)

状

一

二

字焼岩山大凡図(流質地証文関連絵図)

絵図

一

三

(流質地証文関連絵図)(字名取沢山)

絵図

一

三三九

(持畑・持林の所在地・面積・四囲書上)

横

一

《文政四年一〇月〜文久二年十一月》

三三〇

二番山畑図(町田)

縦

一

《文政九年七月〜弘化二年二月》

三三一

流質地証文之写

縦

一

一①

流質地証文之写〔上名栗村流地主多吉他六名↓栄次郎、山畑持人町田栄次郎他二名↓浅草今戸町おきみ〕

《天保二年七月、天保三年五月》

一②

(流質地証文之写)〔上名栗村流地主太吉他八名↓浅草今戸町藤田屋喜助〕

《天保八年一二月》

一③

(流質地証文之写)〔上名栗村流地主半次郎他八名↓安之助、上名栗村讓主安之助他二名↓江戸浅草今戸町藤田屋喜助〕

- 三三六

二

《嘉永四年九月、嘉永四年一〇月》  
 (天保八年一二月) 伊倉藤田屋畑之図  
 (質地畑讓受覚)

綴 一
- 三三三

二

《天保八年一〇月、安政四年七月》  
 (質地畑讓受覚)

綴 一
- 三三三

一

《天保八年一〇月、安政四年七月》  
 (質地畑讓受覚)

綴 一
- 三三六

一

《天保九年七月、弘化二年一月》  
 (質地畑讓受覚)

綴 一
- 三三六

一

《天保九年七月、元治二(一)慶応元)年三月》  
 (天保九戌年、明治二巳年迄買添分高反別書上)

綴 一
- 三三五

一

《天保九年、明治二年》  
 流質地証文之事 (上名栗村流地主久太郎他五名、安之助)

綴 一
- 三三六

一

《嘉永五年七月》  
 (元古組分町田俊三郎の高反別納永書上)

綴 一
- 三三七

一

《明治三年一二月》  
 (町田安重郎の高反別納永書上)

綴 一
- 三三六

二

《明治三年一二月》  
 (俊三郎より入町田安十郎の高反別納永書上)

綴 一
- 三三六

一

《明治四年八月》  
 (町田俊三郎母たかの高反別納永書上)

綴 一
- 三三六

二

《明治四年八月》  
 (安十郎より入町田俊三郎の高反別納永書上)

綴 一

《明治四年八月》

三六九

(りよ跡地を流質地として請取ったので高反別を当方へ書き入れることの証文 (前後) (縦)

一

《明治五年六月》

三七〇

藤田屋年賦山手控 (町田)

横

一

《末年九月二〇日、申年十一月》

L 町田家小作・店貸

文書 番号	年 代	文 書 名	形態 数量
三三二	文化三年二月	酒藏地代請取通〔同重郎兵衛↓町田栄治郎〕	横 一
	《寅（文化三）年二月～酉（天保八）年二月》		
三三三	文政四年正月	店賃小作年貢取立帳〔町田〕	横 一
三三三	《文政五年正月～未（文政六）年正月二五日》		
三三三	文政五年正月	店賃小作年貢取立帳〔町田〕	横 一
三三三	《文政五年正月～未（文政六）年正月二五日》		
三三三	文政六年正月	店賃小作年貢取立帳〔町田〕	横 一
三三三	《正月～二月》		
三三三	文政七年正月	店賃小作年貢取立帳〔町田〕	横 一
三三三	《文政七年正月～酉（文政八）年正月》		
三三三	文政八年正月	店賃小作歳貢取立帳〔町田〕	横 一
三三三	《文政八年正月～戌（文政九）年二月》		
三三三	文政九年正月	店賃小作歳貢取立帳〔町田〕	横 一
三三三	《文政九年正月～亥（文政一〇）年二月》		
三三三	文政一〇年正月	店賃小作年貢取立帳〔町田〕	横 一
三三三	《文政一〇年正月～子（文政一一）年正月》		
三三三	文政一一年正月	店賃小作年貢取立帳〔町田〕	横 一
三三三	《文政一一年正月～丑（文政一二）年正月》		

三六〇 文政一三(天保元)年正月 店賃小作年貢取立帳〔町田〕

月

《正月～十二月》

三六一 天保三年正月 店賃小作年貢取立帳〔町田氏〕

《正月～十二月》

三六二 天保四年正月 店賃小作年貢取立帳〔町田軍蔵〕

《正月～十二月》

三六三 天保四年正月 古組分店賃小作年貢取立帳

《正月～十二月》

三六四 天保五年正月 店賃小作年貢取立帳〔町田氏〕

《巳(天保四)年十二月～午(天保五)年二月》

三六五 天保六年正月 新組分店賃小作年貢取立帳(後欠)

《正月～十二月》

三六六 天保六年七月 地代店賃毎月入箇控〔町田栄次郎〕

《未(天保六)年三月二日～酉(天保八)年六月朔日》

三六七 天保七年正月 店賃小作年貢取立帳〔町田氏〕

《天保七年正月～酉(天保八)年五月》

三六八 天保八年正月 店賃小作年貢取立帳〔町田氏〕

《正月～十二月》

三六九 天保一三年正月 店賃小作年貢取立帳〔町田氏〕

《天保一三年正月～卯(天保一四)年二月、弘化三年の貼紙あり》

三七〇

一 天保一四年正月 店賃小作年貢取立帳〔町田氏〕

横 一

横 一

横 一

横 一

横 一

横 一

横 一

横 一

横 一

横 一

横 一

- 三九〇 《天保一四年正月～安政三年（貼紙による）》  
 二 〔小作金の元利勘定〕
- 三九一 天保一四年七月  
 丑寅小作年貢不納書出〔新館〕
- 三九二 《七月～十二月》
- 三九三 一 午（弘化三）年  
 午年小作金内取覚帳
- 二 《午（弘化三）年三月一九日～二月一三日》  
 弘化四年六月  
 小作金請取覚帳
- 《未年六月六日～申年二月二八日》
- 三九四 文久三年正月  
 小作金内取口分下調帳〔町田〕
- 《弘化三年三月～戊（文久三）年二月》
- 三九五 文久三年正月  
 畑小作人名前帳〔町田〕
- 三九六 文久三年三月  
 小作年貢取立下調帳
- 《弘化三年三月～巳（安政四）年正月》
- 三九七 文久三年三月  
 小作年貢下調帳〔町田〕
- 《弘化三年～文久三年》
- 三九八 文久三年三月  
 小作畑取調改帳〔町田〕
- 《二月～子（文久四＝元治元）年正月》
- 三九九 文久三年三月  
 小作畑改扣〔町田代宗藏・惣治郎〕
- 四〇〇 一 文久三年卯月  
 小作畑并作人取調帳
- 二 〔小作畑并作人取調〕
- 文久三年五月  
 小作金之通〔新立～甚之丞〕

横 状 横 横 横 横 横 横 綴 横 状

一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一

《文久三年五月ゝ子（元治元）年二月》

三四〇 文久三年八月 小作金取立差引帳〔町田〕

《弘化二年七月ゝ文久三年七月》

三四一 文久三年八月 古小作金取立帳

三四二 文久三年 小作金請取書抜扣〔町田〕

《亥（文久三）年二月九日辰（慶応四〓明治元）年七月一三日》

三四三 文久四（〓元治元）年正月 子小作金取立帳〔町田〕

《文久四（〓元治元）年正月ゝ丑（慶応元）年七月》

三四四 元治二（〓慶応元）年五月 丑小作金取立帳〔町田〕

《五月ゝ一二月》

三四五 慶応二年正月 寅小作金取立帳〔町田〕

《正月ゝ一二月》

三四六 慶応三年正月 卯小作金取立帳〔町田〕

《慶応三年正月ゝ辰（慶応四〓明治元）年正月》

三四七 慶応三年六月 小作金書抜帳〔町田・瀧之助内宗蔵〕

《六月ゝ一二月》

三四八

一 慶応四（〓明治元）年五月 辰小作金取立帳〔町田〕

《五月ゝ一二月》

二 （地名・人名書上）

三四九

一 明治三年五月 小作畑見廻取調帳〔町俊〕

《五月一三日・一四日・一六日・一七日・一八日》

横

横

横

横

横

横

横

横

横

状

横